

# 胆沢ダムの付替道路が全線開通！

～ 地震災害を乗り越えて ～

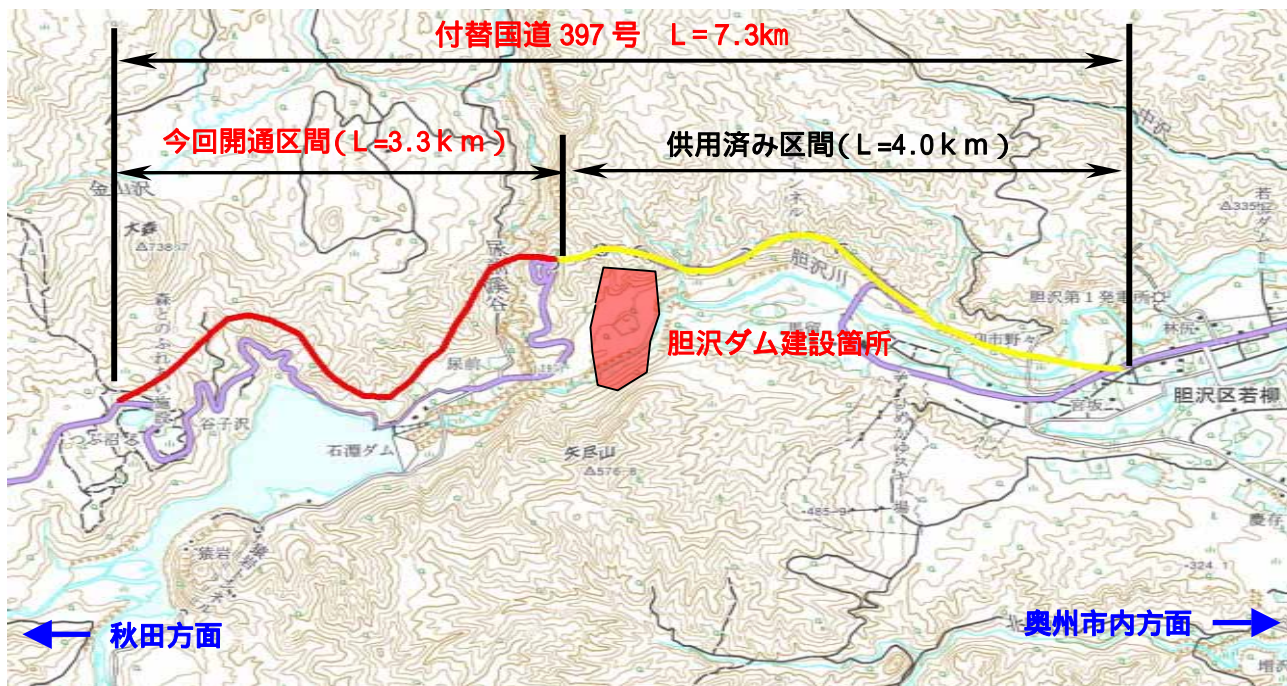
県南広域振興局土木部



開通パレードの様子

奥州市胆沢区の胆沢ダム建設に伴い、国により整備が進められてきた**国道 397号の付替道路**(総延長 7.3km、幅員 11m)は、未供用となっていたダム上流部 3.3km 区間が完成し、**8月10日に全線開通**しました。同日に行われた開通式では、関係者など約 60 人が出席し、赤倉沢橋のもとでテープカットなどを行った後、関係車両が走り初めをして完成を祝いました。

国道 397 号の付替道路は、胆沢ダムの建設に伴い水没する区間の代替道路として平成 5 年に着工した 9 本の橋とトンネル 4 箇所を含む片側 1 車線の道路で、ダム下流部の 4 km 区間は平成 19 年 11 月までに開通していましたが、平成 20 年 6 月に発生した岩手・宮城内陸地震により、道路や橋梁が被災したことから、復旧作業も必要となったため、ようやく今回の全線開通となりました。小沢奥州市長は、「**地震で大きなダメージを受けたが、立派に完成したことは喜びに堪えない**」と今回の全線開通を歓迎していました。



事業概要図